

令和元年中野区議会第4回定例会 齊藤ゆり一般質問（概要）

第四中学校・第八中学校統合のスケジュールについて

○11月22日の第33回教育委員会定例会にて、第四中・第八中の統合新校の新校舎完成が工事延伸により予定より遅れ令和7年以降になるが、統合時期は計画を変更せず、令和3年に第四中位置での仮校舎で開校すると報告があった。

しかしながら、新校舎の完成が統合後最短でも4年後になるため、特に鷺宮地域からは、2.2キロ以上約30分以上かけて第四中位置の仮校舎まで在学中3年間遠距離を歩く生徒がいることになる。

問 子どもたちには相当な負担である。通学について、どのような対策をとるのか？

答 遠距離通学者への負担軽減策として、公共交通機関の利用等について、学校と調整し検討していきたい。

○工事延伸の理由としては、擁壁工事の必要が説明されているがもう少し早い時期に対応ができなかったのか？また、近隣の都営住宅の建て替えや、妙正寺川の改良工事とそれに伴う丸山橋架け替え工事等により校舎工事のための大型車両が通行できない時期があるために、令和7年よりさらなる遅れが出る可能性もあると聞いている。このところ区内工事において、オリンピック・パラリンピック関連工事の影響や、建設作業員の働き方改革等により工事の延伸の報告が多い。

問 子どもたちにとっては1年でもかけがえない時間である。今後の学校施設整備計画は、適切な工期を設定し進めていただきたいがどうか？

答 社会経済情勢の変化や近隣の状況を注視し、影響がある時には、工事スケジュールを見直していきたいと考える。

鷺宮小学校・西中野小学校の統合時期の再考について

○先の教育委員会では、鷺宮小学校と西中野小学校の統合時期も同時に検討されたが、変更なく第八中学校跡地に新校舎が建設され、令和5年に開校するとの報告があった。子供たちには最良な教育環境を考えたい。

問 西中野小学校通学区域に適用されている指定校変更の特例は、鷺宮小・西中野小統合後はどうなるか？統合後は、第四中位置の統合新校に通学するのか、それとも特例を認めるのか？

答 第四中・第八中の再編にかかる指定校変更の特例については、今後検討していきたい。

問 西中野小跡地を仮校舎として計画されている北中野中学校の建て替えを、第八中跡地を仮校舎として行う可能性を含め、小学校の統合時期の再考を検討してはどうか？

答 統合の遅れにより、適正な学習環境の整備も遅れるため、現計画の通りに進めていきたい。

★学校再編はまちの再編ともいえる大きな問題。保護者と子どもたち、地域には丁寧で正確な情報を提供するように要望する。